

ひろつか

広報 2016 4 月
No.1053 第3金曜日号

芽吹いた木々に迎えられながら、湘南平を背に浅間山せんげんに向かって歩くハイカーたち。
湘南平がある高麗山こま公園を上るハイキングコースは、日本森林インストラクター協会の「日本の森100」にも選ばれ、市内外からハイカーが訪れる人気のコースです。詳しくは2面へ。

新緑 ハイキング

目次	1～3面… 特集 高麗山公園を満喫しよう…ハイキングコースや市民団体などを紹介します。	4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ「子どもの健康」「お知らせ掲示板」など	8面…「写真リポート」「がんばれ湘南ベルマーレ」「フォト歳時記」「市長こらむ」 広報ひろつかのPDF版と電子書籍版やデジタルアーカイブは、市ウェブからご覧いただけます。	発行 平塚市 ●編集 秘書広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 FAX0463-23-9467
----	--	--	---	--

●●●●● 広報ひろつかが届かない場合は、ミッド☎0120-350311(月～金曜日、午前9時30分～午後5時)にご連絡ください。●●●●●

高麗山公園を満喫しよう

高麗山公園は平塚市と大磯町にまたがり、平塚市域の開設面積は23.94^{ヘクタール}にもなる。高台に開け、さまざまな動植物が生きる同公園は、浅間山・湘南平・子供の森の三つのゾーンに分かれ、ハイキングやランチ、自然観察などに多くの人が訪れる。

問 みどり公園・水辺課 ☎21-9852

HIKE

豊かな自然を 味わいに 高麗山公園ハイキング

冬を越えた高麗山公園では、冬枯れていた木々が眠りから覚め、芽吹き始める。「ホーホケキョ」と森に響くウグイスの声は、泡垂山山頂にある湘南平を目指すハイカーをのどかに迎え入れる。

高麗山の麓から、湘南平を含む高麗山公園までは、自動車や平塚駅北口から出ているバスなどで行くことができるが、天気の良い日には、歩いて上ってみては――。

高麗山公園までは七つのハイキングコースがあり、平塚市側から二つ、大磯町側から五つが整備されている。どのコースも片道約40分〜1時間と手軽に上れるため、老若男女問わず、市内外からハイカーが訪れる。

平塚市側からは、神奈中「山下」バス停から上るコースと、万田滝坂公園から上るコースがある。いずれも鳥の姿や樹木など、大自然を楽しむながら上れるが、今回は大磯町高麗にある高来神社の脇から上る、初心者でも上りやすいAコースで湘南平を目指す。

共に生きる動植物

小鳥のさえずりを聞きながら、新緑に染まった山道を登り始める。

高麗山から八俣山にかけては緑で覆われ、眺望が悪い。尾根道を歩くと南北で異なる



ヤブランの実や桜が彩るヤブラン平

森なのが分かる。高麗山の南斜面では江戸時代以降、大きな伐採がされていなくなったため、土地本来の自然状態が保たれ、タブノキやスタジイなどの常緑樹とケヤキやエノキなどの落葉樹が混在している。北斜面では太平洋戦争の戦中・戦後に森林が伐採され、スギやヒノキなどの人工林が多くを占めている。

八俣山を抜けると、足元に咲く多種多様な花に目を奪われる。中でも浅間山東側の平地は紫色の花が穂状に咲くヤブランの群落地があり、ヤブ



泡垂山に残る泉

ラン平と呼ばれている。2〜4月はヤブランの実を求め、鳥のレンジャクが姿を現す。

高麗山や浅間山などには多様な花木が存在し、それらの実を餌とするツグミやカシラダカなどの鳥がやって来る。常緑樹のアオキは鳥に食べられてしまうために目立つ赤い実をつける。鳥に種を運んでもらって繁殖するための植物の知恵だ。動植物の共存が見られるのも高麗山公園ハイキングコースの特徴だ。

山々の歴史を巡る

尾根道をいったん下ってから再び上ると標高181^{メートル}の浅間山山頂にたどり着く。山頂には浅間神社や、地形図の基となる一等三角点があり、平塚の市街地が見下ろせる。浅間神社は江戸時代から庶民の間で富士山に通じると言われ、信仰を集めて山頂に祭られている。浅間神社の鳥居と祠を通り、再び坂道を下り、上り返すと泡垂山山頂にある湘南平はもうすぐそこに。

泡垂山の地名は曾我物語に由来し、曾我兄弟の弟、五郎が馬で山に駆け上ったところ山頂付近で馬が口から泡を垂らしたことから名付けられたと言われる。その際、馬が前足を踏ん張った場所から泉、

ハイキングをする際は、虫に刺されないように長袖・長ズボンの服装でお越しください。地図中に記載のない山道もありますので、ご了承ください。

高麗山公園ハイキングコース

鳥の写真は市内在住の写真家 岡根武彦さんの提供です。

シヨカツサイ

ヤブランの実

ツグミ

キブシ

ウグイス

ヒレンジャク

高麗山公園を彩る木々たち

被災地の復興を願う



開花する日を見守る丸山さん

「復興支援をしていた縁で桜を譲り受けたんだ」と話すのは丸山博正さん。

丸山さんは東日本大震災後、被災した宮城県女川町の仮設商店街で使う棚などを製作していた。その縁で、平成24年に女川町の「桜守りの会」からタイリョウザクラを譲り受け、市や社会福祉協議会に相談し、湘南平に植樹することになった。

「早く咲いたところが見たいね」。現在も定期的に桜の様子を見に来るといふ丸山さんは開花の時を待つ。

タイリョウザクラの横に添える看板は丸山さんが作った。「被災地の思いを伝えるために『女川』の文字も彫った」と丸山さん。「桜を見た方が被災地の復興を思い出すきっかけになれば」と思いを込める。

高麗山公園をもとの姿に

●湘南の森



「活動を始めた時は草木がうっそうとしてジャングルのような感じだったよ」と話すのは市民団体「湘南の森」の会長、佐藤憲隆さん。湘南の森は平成19年5月から、高麗山公園ハイキングコースの草刈りや枯木の伐採などのボランティア活動をしている。「21年に始めてから5年間はとにかく草刈りの毎日だった」と振り返る。当時は3人だった会員は現在35人にまで増え、月2回の活動を続ける。

湘南の森は平成24年に専門家を呼び、高木類の実態を調査。その結果、調査した

ソメイヨシノを含む77本の桜ほとんどが、花を咲かせない伝染病のテングス病にかかっていることが分かった。

他の桜にも伝染する恐れがあったため、テングス病にかかった調査地域以外のソメイヨシノを含める、約100本をやむなく伐採。代わりに病気にかかりにくいヤマザクラなどの野生種を植樹している(左上写真)。「ハイカーにとって目の保養になるんじゃないかな」と佐藤さんはほほ笑む。

桜の木の植樹以外にも、浅間山東側に花の道を作ろうと、ウツギなどの低木52本の植樹や、1年を通して植生調査をしている。

「雑草を少なくして、固有の草花が乱れ咲くような花の山にしたいね」と意気込む。湘南の森の活動によって高麗山公園ハイキングコースは本来のあるべき姿を取り戻しつつある。



平日もランチの時間帯には多くの客が訪れる

高麗山公園レストハウス2階にある「Flat」は、ハイキングやドライブで訪れた方がふらっと寄りたくなる、くつろぎカフェレストランがコンセプト。平成28年4月に1周年を迎える。地場産の食材を使った料理と相模湾や富士山などを見渡せる眺望が魅力のレストランは、ハイキングコースを歩いてきた人も多く立ち

EAT 絶景を観ながら ランチ 展望レストランFlat

が湧きだしたとされ、現在も湘南平の東側に史跡として残っている。紅白のテレビ塔を見上げながら泡垂山を上りきると、これまで緑に覆われた視界から瞬間に360度のパノラマが

広がる。そこはかつて千畳敷と呼ばれた平地が広がる湘南平。標高約180mの山頂にあるレストハウス展望台から見下ろすと、相模湾、房総半島、伊豆半島、富士山と素晴らしい眺望が疲れた体を癒やす。

「初めて来店された方は開けた景色に『わーきれい』と良いリアクションをしてくれますよ」と話す。以前は樹木が生い茂り、見渡しが悪かったが、オーブン前に伸び放題の枝を剪定した。「房総半島から富士山まで一望できるレストランはなかなかありません」と力強く話す。Flatは高麗山公園で「ともろびショップ」を開く進和学園とコラボレーションし、シイタケ狩りなどのツアーを企画している。「ふらっと来て楽しむのもいいですが、今後は教室やコンサートを開いて、じっくり公園内を楽しんでもらう企画も考えていやすね」と相原さんは意気込む。

寄る。オーナーの相原伸美さんは「首都圏中央連絡自動車道の開通により、県外の方も多く来店します。20人以上の団体が飛び込みでいらして、大変だったこともありましたが」とほほ笑む。店内にはキッズルームも完備し、幼稚園のママ友や家族連れらがランチやお茶会に利用している。

CAMP

大自然の中で キャンプ 子供の森



約3万平方メートルの敷地に10区画のテントスペースを備えるキャンピングゾーンになっている

子供の森。平成27年度は約48件、124区画で個人・団体の利用があり、市内外からキャンプやバーベキューに訪れる。

「子供の森は必要最低限の設備が整っていないながらも、自然に近い環境なのでボーイスカウトのキャンプには最適です」と話すのはボーイスカウト茅ヶ崎第2団の引率者の小西志知さん。同団体は週1回、茅ヶ崎市内の公園などでテント張りや野外炊事の練習など、学校で学べないことを体験し、自主性や社会性などを

育んでいる。年に数回キャンプをして、練習の成果を試す。3月26日・27日に子供の森で行ったキャンプでは、小学校6年生・中学生15人が参加し、自然観察などを行った。「子供の森は私が中学3年生のころから利用しています。33年前の当時はキャンプ場がきれいに整備されていませんでしたが、今では水道やかまどなどの設備が充実し、使いやすくなりましたね」と話す小西さん。キャンプ場の周りに自然が多く残っているため、野草などを調べる自然観察もできます」と続ける。子供の森は平塚市や茅ヶ崎市を含めた湘南地域の青少年団体が定期的に利用している。「自然が多く残るキャンプ場は湘南地域の他にはあまりありません。このような環境を活用して、子どもたちには物事を主体的に考え、社会性と精神面を鍛えてもらいたいですね」と笑顔を見せる。

施設紹介

高麗山公園レストハウス

レストハウスの展望台からは、南に相模湾、北に丹沢山系などの山々、平塚市街地を望む360度の景観が楽しめる。

1階 ショップ湘南平

午前10時～午後5時。定休日は水曜日。

2階 湘南平展望レストランFlat ☎67-9887

相模湾の地魚フライ(右写真)1,100円、ひらベジスムージー480円など。午前11時～午後5時(ラストオーダー4時30分)。定休日は水曜日と第3火曜日。

3階 展望台

午前9時30分～午後9時30分。



子供の森

山の中腹にある子供の森ゾーン(右写真)はテントスペースなどを備えたキャンプゾーンで、バーベキュー会場としても利用できる。一区画(約35平方メートル)につき1日210円。宿泊の場合は一区画につき420円。予約制です。詳しくはみどり公園・水辺課☎21-9852へ。



